



築理会 会報

2020 Autumn vol.66

東京理科大学工学部建築学科校友会



東京理科大学 神楽坂キャンパス 飯田橋駅の移転したプラットフォームより 撮影：大岩 昭之（6P 参照）

学生&OBOG交流会2020

勉強会活動「RECHARRETTE (リシャレット)」が始動。今年の学生&OBOG交流会では、世代を超えて再び課題に向き合うワークショップを開催します。学生時代の課題のときの集中や駆け込み提出を思い出し、現役生とともに少し頭に汗をかきましょう。11月21日(土)にオンライン配信を予定しています。8Pの記事もご覧ください。

会員意見アンケート実施中

＜アンケート回答フォームはこちら＞

QRコードを読み込むとGoogleフォームに移ります。PC、スマホから回答いただけますので、ぜひご協力をお願いします。



CONTENTS

参加したくなる築理会を目指して

皆さまは築理会をどのように思っていますか

会員意見アンケート速報

3P～6P

築理会活動報告 総会初リモート開催

2P

大学情報・学生情報

7P

リモート授業、築理会賞、りぼん委員会活動状況報告、
新任退任教職員紹介、社会人コース

インフォメーション

8P

Facebook・メルマガ・ホームページでつながろう、
今年の学生&OBOG交流会、「理窓」で紹介されました、
これからの築理会行事、会費納入のお願い

築理会の最新情報を、Facebook、メルマガ、ホームページで配信しています。

総会初リモート開催

2020(令和2)年8月29日(土)

2020(令和2)年度の築理会総会は、当初5月9日(土)に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響のため開催を延期していました。例年のように講演会、懇親会を伴う形式ではなく、Zoomミーティング形式に変更し、総会のみを8月29日(土)に開催しました。

当日は佐野会長、副会長等、参加会員それぞれが、自宅などそれぞれの場所から総会に参加しました。大阪やアメリカ・サンフランシスコからの参加者もいて、リモートならではの顔ぶれとなりました。当日の参加者は42名でした。



参加者の顔ぶれ

■総会議事報告

- 第1号議案 2019(令和元)年度 活動報告
- 第2号議案 2019(令和元)年度 決算
- 第3号議案 2019(令和元)年度 監査報告
- 第4号議案 現在の運営体制について
- 第5号議案 2020(令和2)年度 活動計画
- 第6号議案 2020(令和2)年度 予算

Zoomの投票機能を利用して採決し承認されました。



議案は画面で共有しながら進行

2019 年度決算

(収入の部)

部 門	金 額
2018年度繰越金	3,267,622
築理会会費	970,500
広告収入	317,520
寄付、余剰金他	215,160
2019年度収入総計	1,503,180
総収入	4,770,802

(支出の部)

部 門	金 額
会報	1,116,619
ホームページ維持費	129,580
築理会賞、りぼん支援	120,000
事務費、運営費(会場費)	88,639
2019年度支出総計	1,454,838
2019年度繰越金	3,315,964
総支出	4,770,802

2020 年度予算

(収入の部)

部 門	金 額
2019年度繰越金	3,315,964
築理会会費	1,160,000
広告収入	600,000
2020年度収入総計	1,760,000
総収入	5,075,964

(支出の部)

部 門	金 額
会報	1,547,824
ホームページ維持費	130,000
メルマガシステム費	50,800
築理会賞、りぼん支援	120,000
事務費、運営費(会場費)	220,000
2020年度支出総計	2,068,624
2020年度繰越金	3,007,340
総支出	5,075,964

総会議事終了後は、新役員紹介、現在の活動紹介、りぼんの学生からの挨拶など多彩なプログラムとなりました。

2020年度活動計画(概要)

同窓会としての存在感をこれまで以上に高め、また大学との結びつきを強め、築理会を活性化します。

■テーマ1 会員相互の交流を活発化する

同窓の絆を強め、多様な機会での連携を深める。また、世代を超えたつながり、建築学科出身者以外との連携、東京と地方のネットワークを少しずつ広げる。結果として会費納入増加によって財政基盤を安定させる。

担当 *企画総務委員会、*情報・広報委員会、
*会員ネットワーク委員会

■テーマ2 会員の活動を支援し、

「理科大建築」のプレゼンスを拡大する

会員が個別に持つ情報や技術、卓越した成果を共有し、それによる会員の研鑽、活動展開を支援する。

担当 *活性化委員会、*女子部会

■テーマ3 東京理科大学工学部建築学科と連携して教育貢献する

会員の経験と情報を活かして建築学科の教育に協力し、次世代育成に寄与する。

担当 *建築学科への協力委員会

2020年4月の非常事態宣言発令以降、常任幹事会、各委員会はリモートで議論をしています。この状況をうまく活かすことが必要だと考えます。そして、多忙な中堅・若手世代や海外在住者の活動参画も進めるチャンスです。

ぜひ、まだ活動に参画していない会員の皆さまには、築理会というネットワークをうまく活用し、一緒にこれを育てていきましょう。

参加したくなる築理会を目指して

皆さまは築理会をどのように思っていますか

世界共通の脅威である新型コロナウイルスが始まって半年以上が過ぎました。そのような中においても、卒業生の皆さまは、それぞれ状況を見据えながらご活躍されていることと思います。例年であれば5月に行われる築理会総会も、今年は8月にリモート会議で行われました。誰もが初めての経験でしたが、議事については滞りなく終了し、無事総会を終えることができました。

様々な形でご案内してきたつもりですが、実際に出席した人数は少なく、ぎりぎりの決議でもありました。日頃の築理会の活動については、役員により、年間計画を作り運営されています。しかしながら人員は固定し、内容について変化の乏しい気がしています。予算・決算の数字を見たときに、広告収入があるものの本丸である会費収入に、なかなか改善する兆しがありません。

われわれの築理会について、会員の皆さまがどのようにとらえているのだろう。皆さまの思いを知りたい。社会に出れば毎日が忙しく過ぎていきます。責任者ともなればなおさらでしょう。「本当は参加したいけれどもなかなか時間が取れない」「そもそもどんな活動しているの」「OBOG会も最近はさっぱりだな」「知っている人がいないから敷居が高いよね」などなど様々な思いがあるでしょう。

そこで今回、会員の皆さまに、築理会の存在・活動・期待についてアンケートを取りました。日頃皆さまがどのように考えているか、どんなことをしたいか、どのようなことに意義・魅力を感じるか。少しでもこれからの活動に生かしていきたい、そのように考えています。

1966年の卒業生を一期生とする築理会は、現在では約8千人を擁する会員組織となりました。社会、特に建築業界を見たときには、それなりのパワーを持っていると思います。しかしながら、他方では年代差も、20代から80代までと非常に広がりを見せています。デジタル社会への習熟度も違い、情報・広報委員会では苦労が多いわけです。

アンケート集めには時間がかかります。少し気長に時間をかけて集計したいと思います。この2020年秋号と、2021年春号にまたがり、皆さまの意見を発表・分析し次につなげていきたいと考えています。今回はその1回目です。これを機に一人でも多くの会員の皆さまに、築理会の現状を知っていただき、意識を共にし、活動につなげていきたいと思っています。

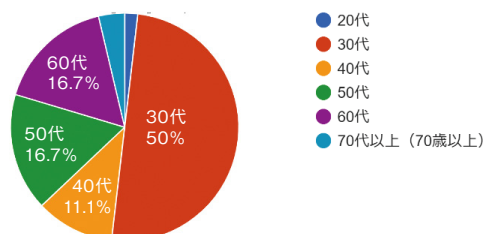
原稿をまとめる段階での回答者数は59名です。会員全体の人数を考えると、本当にわずかな状況です。

それでは早速見てまいりましょう。

【回答者の属性について】

今回のアンケートは情報・広報委員会が知人・友人に依頼して回答を集めました。実際の会員の構成比率は異なることはご承知おきください。

【属性①】 あなたの年代を教えてください。



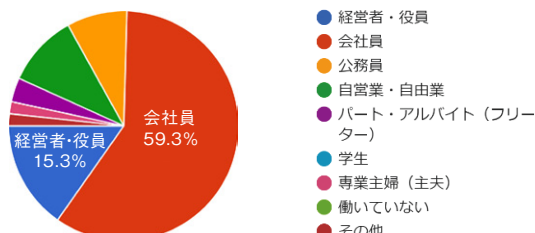
【属性②】 お住まいの地域を教えてください。

▼上位3位

東京都	59.3%
神奈川県	23.7%
埼玉県	10.2%

回答者の約9割が首都圏に居住しているという結果になった。

【属性③】 あなたの職業を教えてください。



【属性④】 あなたの業種を教えてください。

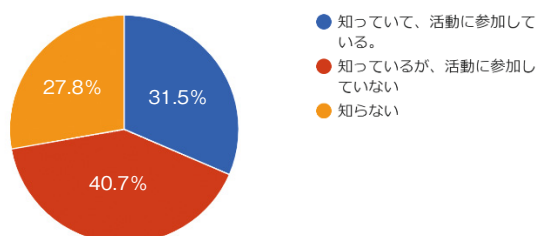
設計事務所	16票
ゼネコン	11票
官公庁・自治体	5票
不動産・デベロッパー（管理・開発）	5票

<その他の回答>

- コンサルタント業（建設・経営）
- 不動産投資
- 建築系ソフトウェアデベロッパー
- 金融機関

【設問に対する回答】

【1】 築理会の活動内容を知っていますか？



【2】参加している活動について教えてください。

〔複数回答可〕

活動に参加したことが無い	36 票
築理会総会、講演会、懇親会への出席	15 票
新年会への参加	11 票
OBOG 学生交流会への出席	11 票
常任幹事会、幹事会への出席（運営側として）	11 票

【3】築理会の運営する媒体で閲覧しているものを教えてください。〔複数回答可〕

会報	43 票
ホームページ	15 票
メルマガ	14 票
ない	11 票

【4】築理会では、会報やその他の情報を電子化することを検討しています。それについてどう思われますか。

抵抗を感じない	49 票
あまり抵抗を感じない	6 票
やや抵抗を感じる	3 票
抵抗を感じる	1 票

【5】今後、活動に参加したいと思いますか？

現在、参加していないが、今後機会があれば参加してみたい	20 票
現在、参加しており、今後も続けたい	16 票
参加するつもりはない	13 票
現在、参加していないが、今後ぜひ参加してみたい	6 票

【5-A】参加したい活動について教えてください。

〔複数回答可〕

築理会総会、講演会、懇親会への出席	32 票
OBOG 学生交流会への出席	22 票
ホームカミングデーへの参加	15 票
新年会への参加	12 票

【5-B】各種イベントなどに参加していない理由を教えてください。〔複数回答可〕

参加するための意欲がわからないから	6 票
築理会の活動を知らないから	5 票
仕事の都合で時間が取れないから	5 票
家事・育児などの時間を優先しているから	5 票
面倒なイメージがあるから	5 票

【5-C】どうしたら各種イベントに参加したくなると思いますか？〔複数回答可〕

築理会の活動や組織についての情報をもっと知る	6 票
築理会の活動に意義を感じる	4 票
友人や知人がすでに参加している	2 票

<その他の回答>

- 家族にとって有益な活動であること
- 無理に参加者を増やす必要はないと思います。
- 築理会というコミュニティに参加することで産学連携しやすいとか、ビジネスに繋がるとかメリットを感じたら。

【5-D】企画実行委員として築理会の活動に参加していない理由を教えてください。〔複数回答可〕

面倒なイメージがあるから	8 票
参加するための意欲がわからないから	7 票
築理会の活動を知らないから	5 票
仕事の都合で時間を取れないから	5 票
家事・育児などの時間を優先しているから	5 票

【5-E】どうしたら企画実行委員として築理会の活動に参加したくなると思いますか？〔複数回答可〕

築理会の活動に意義を感じる	6 票
築理会の活動や組織についての情報を知る	5 票
オンライン上で活動に参加できる	2 票
資金的な報酬を得られる	2 票
知人・友人がすでに参加している	2 票

鋼管・鉄骨・プレキャストコンクリート工法 エクス・ティービー

ECS-TP (Top Plate)

鉄骨構造物に革命を。
杭と柱の一体化。

株式会社 三誠
SANSEI INC.

Tel: 03-3511-0211 Fax: 03-3551-0217 Mail: info@sansei-inc.co.jp
〒104-0033 東京都中央区新川 1-8-8 アクロス新川ビル 9F

北海道営業所 / 東北営業所 / 新潟営業所 / 北陸出張所 /
北関東営業所 / 千葉出張所 / 神奈川出張所 / 関西営業所 /
中四国営業所 / 九州営業所 / 沖縄営業所

エアー断震住宅

株式会社 三誠 AIR断震システム
http://www.airdانشin.jp/

究極の地震対策住宅 国土交通大臣認定取得 国住指第 2036 号

①通常時
地震センサーが常にゆれを監視しています。

②地震発生時
地震センサーが一定以上の地震を検出すると即時にエアータンクから空気が送られて家を浮かし、揺れを断ちます。

大地震が来ても大丈夫
震度7の揺れも1/30に軽減。『エアー断震住宅』なら、毎日安心して暮らせます。

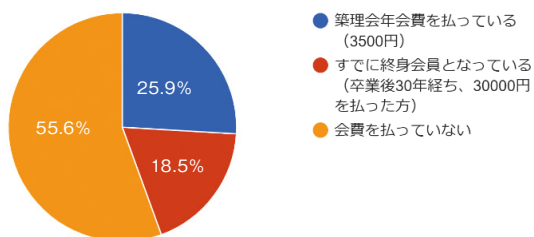
【6】会費の支払い方法について、都合が良いと感じるものを教えてください。〔複数回答可〕

クレジットカード	39 票
銀行振込	20 票
コンビニ決済	19 票
電子マネー	16 票
郵便振替	9 票

【7】会費の納入期間で都合が良いと感じるものを教えてください。〔複数回答可〕

毎年、手動で入金する	27 票
毎年、自動で引き落としされる	21 票
まとめて数年分、手動で入金する	11 票

【8】現在、会費をお支払いいただいているか教えてください。



【9】築理会に期待するものを教えてください。〔複数回答可〕

卒業生同士の情報交換・親交	43 票
仕事に役立つ情報の収集 (勉強会や講演会)	38 票
同世代の会員との情報交換・親交	28 票
現役生と卒業生との情報交換・親交	26 票
建築好き同士の交流	18 票
仕事や家庭以外での人との交流	11 票
特に期待するものはない	5 票

【10】最後に、築理会として活動すべきこと、組織として存続するために今後どのような運営が望まれるか、など自由にご記入ください。

- 会員8000人が多様な場面、多様な目的で参加できるような運用。
- 会員情報の検索機能の充実。
- 幅広いネットワークと多くの会員の獲得と適材適所によるチーム力。
- 若い人を増やすための方策を考えるべき。
- 出来るだけ休日、又は夜間の会合をお願いします。
- 築理会に対する期待値は人それぞれ。各自の生活の中で築理会に割ける時間にも差がある。現状通り会員の皆様がそれぞれ自分の思惑で活動を選択して参加できる状況、特定の活動だけでも気楽に参加できる雰囲気の維持ができればと思う。
- 思い切って、オンライン上で活動 (会費振込、会報、イベント (ただし、実会場も残す)) が完結する形式に移行した方が、幅広い層からの参加が期待できると思う。
- 知名度を上げる事と何をやっているのかを明確にする事。
- 簡潔で分かりやすい「築理会の方針」やミッションをネット上で発信する。
- 年会費3,500円は決して払えない金額ではありませんから、何のために使われるのかを明確に打ち出して、クレジットカードで支払いができれば、賛同者も増えて、活動資金も増えると思う。どんどん発信しよう!!
- コンテンツの充実。
- 同業者と交流できて仕事上、有利になるような人脈形成ができるような会にしてほしい。
- 建築の議論の場となれるといいなと思う。
- 知る、興味を持つ、する、のどこで止まっているのか、どんな課題があるのかを明確にして対応方法を考えていく必要があると思う。
- 「興味をもつ」のところではほとんどの人が止まっていると思いますので、解決策の一つとしては活動の目的 (理科大建築学科にとってよい、とか、コミュニケーションが活発になるとか、ふわっとした内容ではなく、具体的に会員にどんなメリットがあるのか) を可視化し訴求する必要があると思う。
- 私のように建築以外の仕事をしている人にとってもメリットがあるようなことがわかれば、参加率も少しは増える?
- 運営する人の負担軽減。
- 会費の使い道の透明性と活動目的や意義のわかりやすさが会費の支払いや参加率向上に繋がるのではと思う。
- 世の中にアピールするような、小さなPJを立ち上げたい。例えば公衆便所PJ。
- 気軽に参加できるイベントの開催、イベントや総会などの透明化 (何をやっているのかどんな雰囲気なのかなど知りたい)。
- いま気にしているのは、①世代・地域・職域を超えた広がり②テーマごとに (やがては全面的に) 野田建築会との協働③対外的な発信、特に若手の活動のクローズアップ④それらを支える名簿や事務局機能の強化、ITの活用 of 段階的の着手などだが、どのような団体でもよく出る<会員メリットって何?>に答えるよりも、まずは「なんだか積極的に動いている感」が必要。
- 横浜国立大の円錐会 (ユニコーンサポート) のホームページの様に現役生にとって有益な内容のコンテンツがあると良いと思う。
- もっと若い年代が参加できる組織にする。

回答受付継続中

いかがでしたでしょうか。うーん。やっぱりそうか。みんなも同じ気持ちなんだね。やっていることはわかるけれど、知っている人もいないな等々。いろいろなとらえ方があると思います。卒業生であれば、全く関心がないというわけではないのでしょうか。もしかすると、多くの方が最初の一步を踏み出せずにいるのかもしれません。

まず問題は、回答数です。約8000人の会員に対して、現在59人です。前述のとおりアンケートは年内いっぱいまでは受け付けるつもりです。回答数が少ないと全体の気持ちがかみきれません。より多くの回答が来た段階でもう一度集計し、次号ではいろいろな角度から分析し、意見の集約を図ってみたいと思います。

意味のある検討結果にするためにも、一人でも多くの意見をお待ちしています。回答されていない会員の方は、ぜひ回答をお願いします。

<アンケート回答フォームはこちら>

下記QRコードを読み込むとGoogleフォームに移ります。PC、スマホから回答いただけますので、ぜひご協力をお願いします。



<Facebookはじめました！>

上記アンケート調査で多数いただきました意見として、「若い世代の参加を増やす」「在校生との交流を活発にする」というものがありました。その第一歩として、さっそくですが築理会公式のFacebookページを開設しました。

今後、HP・メルマガと合わせて、よりタイムリーな情報を発信していきます！是非、Facebookページをフォローいただき、チェックしてくださいね♪

<https://www.facebook.com/chikurikai>

※Facebook内で「築理会」と検索いただき「ページ」で絞り込めば、見つかります。

新しくなった飯田橋駅の西口駅舎 表紙写真

神楽坂や九段のキャンパスへ通学した会員の皆さまにとっては、旧駅舎にもいろいろな思い出があったのではないのでしょうか。

4年にわたる工事を経て、JR飯田橋駅が新しくなりました。急カーブのため乗り降り時に危険のあったプラットフォームは、市ヶ谷側に200m移動し、大学までの距離が少し短くなりました。

新しい西口駅舎は2階建です。その中には、「エキュートエディション飯田橋」という商業施設も開業し、利便性が増しました。



懐かしい西口駅舎

総合資格学院は正真正銘の日本一

令和元年度 1級建築士設計図試験 全国合格者3,571名中、当学院年度受講生2,138名 全国合格者占有率59.9%

No.1

令和2年度 1級建築士 学科試験

学習方法の選択で合格に大きな影響が！

総合資格学院
基準達成 当年度受講生
合格率

51.0%

全国合格率
20.7%に対して

その差

3倍

独学者、
他スクール利用者
合格率

17.2%

総合資格学院 基準達成 当年度受講生 3,973名中 / 合格者 2,028名

※上記当学院合格率は、出席率8割、課題提出率8割を達成した総合資格学院当年度受講生の合格率です。(令和2年9月8日現在)

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。



総合資格学院

全国90拠点以上

北千住校 TEL.03-5284-3911

Twitter →「@shikaku_sogo」

Facebook →「総合資格 fb」

スクールサイト

コーポレートサイト

法定講習
実施中

開講

講座

1級・2級 建築士/建築施工管理/土木施工管理/管工事施工管理/構造・設備設計1級

建築士/宅建士/インテリアコーディネーター/建築設備士/賃貸不動産経営管理士

総合資格 検索

www.shikaku.co.jp

www.sogoshikaku.co.jp

一級・二級・木造建築士定期講習 / 管理建築士講習 / 第一種電気工事士定期講習 / 監理技術者講習 / 宅建登録講習 / 宅建登録実務講習



築理会賞を授与しました

これまで学業成績の優秀者（学科2位）と、審査で選定した卒業制作の優秀者に築理会賞を授与していましたが、2019年度より卒業論文を対象とした学科推薦と築理会による審査も実施し、下記の通り築理会賞を授与しました。

築理会賞 卒業論文部門

手塚 智生さん「建物への入力動を観測量とした拡張カルマンフィルタによる同定理論の構築」

築理会賞 卒業制作部門

布井 翔一郎さん「唧筒器官-都市内在型物流施設」

2020年度りぼん委員会活動状況の報告

りぼん委員会 佐々木 里佳（修士1年）

今年度は、りぼん作成の為に、学校で集まって会議を行うのが厳しい状況なので、Zoomを活用して話し合いを行っています。8月中旬現在は、りぼんに掲載する作品を皆から集めて、これから本格的に冊子の作成に取り掛かる予定です。作品掲載以外のページも充実させ、学部生に興味を持ってもらえるような研究室紹介や、コロナ禍ならではの企画も用意しています。最高のりぼんをお届けできるよう、委員会一同精一杯取り組んでいきます。

3ヶ月のリモート授業を通して、学生は何を思ったか 本山 真一朗（熊谷研究室補手 2016 年卒）

新型コロナウイルスの感染が日本でも拡大し、東京理科大学でも3月から感染拡大防止のための様々な対応がとられている。新学期も5月からの開始となり、リモート授業が取り入れられ、主にZoomや動画視聴を活用した新しい授業形式が始まった。

8月初旬までの前期の授業を通して、現役の学生の大学生活はどのようなになっているのだろうか。この3ヶ月ほどで学生がどのような考えを持ったのか、Google Formを利用し、簡単なアンケートを行い、学部3年生以上の学生25名と、修士課程の学生2名の計27名から回答を得た。

まず対面授業と比較した際のメリットについての回答をみると次のような意見が確認できた。

①黒板から遠くて見にくいなど弊害が少ない ②自分の都合の良い時間に映像授業を見ることができる ③分らないところを聴き直せる ④自分の都合に合わせて受講できる ⑤通学時間の短縮 ⑥3Dモデルの検討による模型製作時間の短縮などである。

スケジュール上のメリットが特に意見として多く、また学生は非同期型という動画配信型の授業については授業動画の再視聴を行う等、リモートならではの受講方法をとっていることは興味深い。

デメリットでは次のような意見が確認できた。

①授業中の個人的な会話ができない ②質問の際に図

に書き込んでもらうことができず、言葉で理解する必要がある ③対面でないと実験ができない ④エスキスで考えを伝えるためこれまで以上の資料の作成が必要 ⑤



▲リモートでの作業環境

模型や図面によるコミュニケーションが取れない ⑥グループ設計での話し合いの困難さ

このように学生は、今まで直接会うことで行っていたコミュニケーションがリモートになったことに最も不便さを感じているようである。

緊急事態宣言以降、教職員・学生が共にインターネット上でのやりとりを強いられているが、前期ひとまず授業が行えたことは、現在の学生がインターネット世代としてネットリテラシーに非常に富んでおり、柔軟に受け入れてくれたおかげであろう。

社会人コースが始まりました

2020 年 4 月より、工学部建築学科に夜間主社会人コースが開設され、22 名が編入学しました。神楽坂校舎に新たに製図室も整備され、広谷先生、常山先生、清原先生がコース担当教員として学生を迎え入れましたが、入学と同時に緊急事態宣言もあり、多くの新入生と同じく、社会人コースの講義も、前期はすべてオンラインで行われました。

新任退任教職員紹介

新 任



広谷 純弘 嘱託教授（社会人コース）
1980年卒
株式会社アーキヴィジョン広谷スタジオ



金 政一 助教
（倉淵研究室）建築環境・設備
2013 東京大学大学院博士課程 修了
2016-2020 株式会社ミサワホーム総合研究所



エルドンオチル 嘱託助教
（栗田研究室）建築構造・材料
2019 三重大学大学院博士課程 修了
2019-2020 三重大学大学院工学研究科



砂川 晴彦 嘱託補手
（インターンシップ担当）
2019 東京理科大学大学院博士課程 修了
2019-2020 株式会社文化財工学研究所

退 職

宇野 求 教授（現在は嘱託教授）・石山 さつき 嘱託助教・鄭 新源 嘱託助教・辻 佳菜子 嘱託補手

Facebook・メルマガ・ ホームページでつながろう

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、在宅勤務、外出自粛等が求められ、対面でのつながりは希薄になってしまっています。WEBなら、このような状況でも、簡単につながることができます。

昨年秋から始まった築理会メルマガは受信されていますか？築理会からのお知らせやホームページ記事のご案内、会員の皆さまからの情報などを発信しています。Facebookも新たに開設しました。今後はFacebook、メルマガ、ホームページを使って情報を発信し、会員の皆さまと交流を深めていきたいと願っています。情報提供もお待ちしております。

築理会Facebookページ

 <https://www.facebook.com/chikurikai>

築理会メールマガジン

配信は築理会ホームページのお問い合わせページからお申し込みいただけます。



築理会ホームページ

<http://www.chikurikai.org/>

これからの築理会行事

今年度の総会は2P記事で紹介の通り、WEB開催となりました。ホームカミングデー、ちくご会ゴルフは、残念ながら中止となりました。これから開催予定の行事については、学生&OBOG交流会は形を変えて開催する予定です、新年会、築理会賞審査会は状況により判断することになります。詳細が決まりましたら、Facebook、メルマガ、ホームページでご案内しますので、チェックをお願いします。

WEB開催であれば、地方、海外在住の方々にも気軽にご参加いただくことができます。WEBならではのメリットを活かし、多様な行事を企画していきますので、地方、海外在住の方々を始め、これまで会場開催では参加しにくかった皆さまも、この機会に築理会行事にご参加ください。お待ちしております。

会費納入のお願い

築理会は皆さまの会費により活動しています。卒業生、在校生への多様な活動のために、会費の納入をお願いします。会費は3,500円/年です。同封の振込用紙にて納入してください。築理会やりぼんの活動などに対する寄付も受け付けています。

卒業後30年を経過した卒業生には終身会員制度があります（会費30,000円を納入し、以降の年会費は免除）。現在は平成2年以前に卒業された方が対象です。

振込用紙がお手元ない場合は、以下に直接お振込みいただくことも可能ですが、ご氏名、学部卒業年を併せてお知らせください。

郵便局

振替口座番号：00110-5-171952
築理会（チクリカイ）

ゆうちょ銀行（金融機関コード9900）

店番：〇一九店（ゼロイチキユウ）
預金種目：当座 口座番号：171952
築理会（チクリカイ）

今年の学生&OBOG交流会

理科大の卒業生と 現役生の勉強会

世代を超えて 再び課題に向き合うワークショップ Re+KADAI

11月21日(土)オンラインでの開催を予定しています。参加者、時間など詳細については後日、築理会HPおよびFacebookにて発表しますのでご期待ください。

主催：工学部建築学科、築理会、
SA フォーラム「RECHARRETTE（リシャレット）」

「理窓」で紹介されました

「理窓」9月号（東京理科大学校友会（理窓会）会報）13Pに築理会の活動紹介が掲載されました。

<https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/news/11295.html>

理窓会の常務委員にも就任した佐野会長より、「同窓組織としての責任を果たしてゆきたい」との決意が語られています。

編集長：近藤 剛啓

編集委員：古池 廣行、野田 正治、飯山 道久、荒井 眞一郎、
浦山 千明、森 清、伊藤 学、安達 功、高橋 潤子、
阿久津 好太、熊谷 一清、鈴木 敦子、三浦 博範、
栢木 まどか、渡邊 杏奈、山岸 隆、本山 真一郎

編集後記：（渡邊 杏奈）

今回から縁あって会報誌作成に参加しました。築理会の運営側に回ってみて、大勢の先輩方の協力と知恵の結集で、様々な活動が成り立っていると実感しました。会報誌もその一つです！隅々まで読んでいただけると嬉しいです。